

ニュースを教育・研究の視点から発信する OTEMON VIEW

『ハウルの動く城』の聖地巡礼。 宮崎駿監督がジブリ作品に描くパリのエッセンス

追手門学院が OTEMON VIEW を開設

学校法人追手門学院(大阪府中央区、理事長：田口順一)は大学公式HPに特設サイト

「OTEMON VIEW」を開設しています。

<https://newsmedia.otemon.ac.jp/>

OTEMON VIEW とは

「ニュースの面白さは、見方次第。」をコンセプトに、日々移り変わる世の中の出来事を、追手門学院大学の教員らが教育・研究成果など専門的知見に基づいて読み解きます。

人気の記事 \よく読まれている記事！/

- 1 2021.09.02 地域・観光
死海文書とは何か。日本語訳プロジェクトに携わる研究者が明かす、その全貌
132402Views
OTEMON VIEW編集部
- 2 2022.10.07 社会とくらし
男女平等ランキングはなぜ低い？日本のジェンダーギャップ解消に求められる家族観・政策の視点
94999Views
OTEMON VIEW編集部
- 3 2022.07.06 ころとからだ
「なつかしさ」はビタースイート。記憶心理学者とたどるメカニズムと心理的効果
57802Views
OTEMON VIEW編集部
- 4 2022.12.20 社会とくらし
元マルサの指揮官が語る「国税専門官」の仕事とキャリアパスのリアル。
55066Views
OTEMON VIEW編集部
- 5 2020.08.24 ころとからだ
すぐそばにある薬害問題。「薬害根絶デー」を考える薬害被害について
46829Views
OTEMON VIEW編集部

OTEMON VIEW 人気記事ランキング

ニュースを教育・研究の視点から

宮崎駿監督の作品は、混迷の時代を生きる私たちに強いメッセージを投げかけます。

今回は、アニメーション、日本近現代文学を専とする奥田浩司・文学部教授が、宮崎駿作品とパリの知られざる関係について紹介します。奥田教授がパリ行きを決めたのは『ハウルの動く城』で描かれた有名なシーンが、とある建物が舞台なのではないかと考えたことから。長く続く階段、市民革命の足跡、多様な人々が共存する暮らし…研究者がパリで見てきたものとは？

(以下は主なポイント)

『ハウルの動く城』とパリ

- ジブリ研究者の2週間のパリ滞在。その狙いは？
- 作中に登場する長い階段の先は、サクレ・クール寺院だった！？

『ハウルの動く城』でフランスが多く描かれるのはなぜ？

- 宮崎監督の描く自由とフランス
- 心臓(ハート)に込めた子どもの心の重要性
- パリで受け入れられる宮崎駿とジブリの世界**
- 日本のポップカルチャーとして人気の宮崎駿作品
- パリの雰囲気・気質と宮崎駿監督の親和性

記事本体:<https://newsmedia.otemon.ac.jp/3208/>

『ハウルの動く城』の聖地巡礼。宮崎駿監督がジブリ作品に描くパリのエッセンス



パリ市街地

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課 TEL：072-665-9166 織田